

# 城北中央公園 ゾーニング図(案)



S=1/5000

**① 緑と水辺のゾーン**

- 石神井川沿いに視点場となる広場や散策路を設け、水辺や桜並木の景観を眺めながら散策や休息を楽しむゾーンとする。
- 水辺の樹林やビオトープ池を設け、水辺で遊び、学べる場とする。
- 水辺の樹林付近一帯は、石神井川との一体的により、水辺に親しむことのできる拠点整備を行う候補地とする。

**② 花のプレイランドゾーン**

- 花木の広場や花の広場に四季を彩る草花や花木を植栽し、人々の集い・交流、遊びの場を提供するゾーンとする。
- 季節の催事（七草や月見など）に関わる植物や、カリンやアケビ、キンカンなど実のなる木を植栽し、植物を通じて交流を深める場とする。
- 花木の広場には子どもの遊び場として遊具を設ける。

**③ 武蔵野の森ゾーン**

- 武蔵野を象徴する雑木林や芝生広場を創出し、住民参加により緑を育むゾーンとする。
- 茂呂遺跡の丘に散策路や解説板を設け、散策しながら地域の歴史について学べる場とする。

**④ 桜山ゾーン**

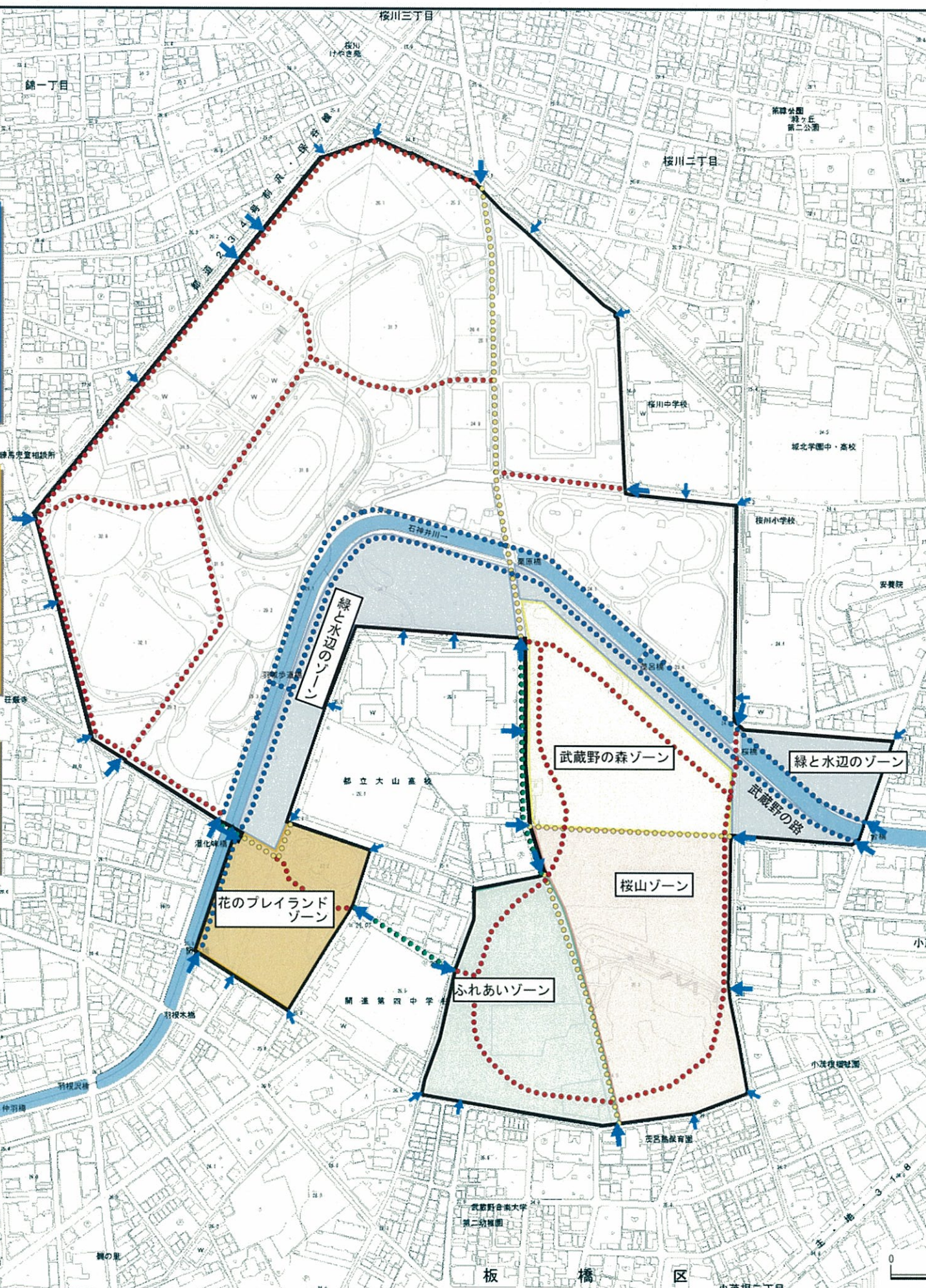
- 桜の名所として親しまれている板橋区立茂呂山公園と一体的に桜山や広場を創出するゾーンとする。
- 様々な種類のサクラを植栽したお花見の広場を設け、明るく広大なオープンスペースを創出する。

**⑤ ふれあいゾーン**

- 武蔵野の農とそのくらしの風景を再現し、地域の学校や福祉施設、住民等の参加により園芸や農作業を行うなど、協働の場として活用していくゾーンとする。
- 草花や野菜の畑、管理・活動拠点、休憩施設を設け、竹林や果樹（カキ、クリ、ミカンなど）を植栽し、くらしのなかの四季の移り変わりを感じ、ふれあう場とする。
- 管理・活動拠点は、公園の管理やボランティアの育成・活動、農体験など、人々が集い様々な活用が期待できる施設とする。

● 石神井川より北側の公園区域

- 鬱蒼とした既存の樹林について、適宜、剪定や間伐などを行い明るい樹林に育成していく。



種別	分類
——	都市計画公園区域
●●●●●	主要動線 (園内)
●●●●●	主要動線 (園内・一般交通)
●●●●●	主要動線 (園外)
●●●●●	武蔵野の路
➡	エントランス

